

ず～むあっぷ☆

オホーツク

知床五湖（斜里町）

玉ねぎ畑へのバイオ炭施用によりJ-クレジット認証を取得
JAきたみらい（北見市）

国内有数の玉ねぎ生産地にあるJAきたみらいでは、玉ねぎ畑へのバイオ炭（※1）の施用により、2024年1月にJ-クレジット制度（※2）の認証を取得しました。



これまで取り組んできたこと

JAきたみらいでは、1987年に訓子府地区で低農薬による玉ねぎ生産を始め、2013年にはカーボン・オフセット（※3）を開始するなど、積極的に環境負荷低減に取り組んできました。

2019年には、SDGsへの貢献と環境保全により商品価値を創出する戦略を立て、環境負荷低減商品の供給力と販売力の向上を図っています。

2022年からは、将来を担う子供たちに環境負荷低減の取組への関心を持ってもらうため、愛知県名古屋市の小学校にカーボン・オフセット玉ねぎを提供し、カーボン・オフセット給食が実施されています。

J-クレジット認証を取得

JAきたみらいは、ホクレン及び一般社団法人クルベジ協会と連携し、2024年1月に、玉ねぎ畑へのバイオ炭の施用でJ-クレジット認証を取得し、クレジットの販売を開始しました。

また、バイオ炭を施用した畑で生産した玉ねぎを「環（めぐる）」ブランドとして販売しています。



「環（めぐる）」パッケージ



「環（めぐる）」広告イラスト

取組を続けていくために

JAきたみらいは、今後、環境負荷低減の取組を維持・拡大するために、①バイオ炭を確保すること、②取組を収益につなげていくこと、③生産者の後継者を確保することが課題と考え、バイオ炭の確保を継続的な課題としつつも、環境負荷低減商品の認知度向上による販路の確保、後継者にとって魅力ある地域農業づくりに取り組んでいます。

※1：バイオ炭…燃焼しない酸素濃度でバイオマス（木材やもみがらなど）を加熱して作られる炭。土壌に炭素を貯留する効果がある。

※2：J-クレジット制度…温室効果ガスの排出削減量を「クレジット」として国が認証する制度。

※3：カーボン・オフセット…自主的な削減が困難な温室効果ガス排出量について、クレジットの購入等により埋め合わせる取組。